

図工・美術部報

一年を振り返って

茨城県教育研究会図工工作・美術教育研究部 部長

清水 明



今年度の研究テーマを「感性を豊かにし、創造する力を

を育む図画工作・美術教育の在り方」と設定し、そのテーマに迫るための研究・研修を、「実技研修会」と「研究調査委員会」を中心に運営をしてきました。県内各地区の多くの図画工作・美術教育研究部員の先生方には大変お世話になりました。

さて、図画工作・美術教育研究部は、水戸地区、県北地区、県東地区、県南地区、県西地区の五つのブロックから構成されており、隔年ごとにブロック持ち回りで研究発表大会を実施しています。本県の教育研究会では隔年で重点・非重点年度が設定されており、重点年度がこの発表会

に当たります。

今年度、図画工作・美術教育研究部は非重点年度に当たり、次年度の県南地区の研究発表大会に向け、県南地区の部員の先生方を中心に準備を進めています。

重点・非重点年度に関わらず毎年実施している「実技研修会」と「研究調査委員会」は、どちらの事業も、図画工作・美術教育の指導力を深め、研修の成果を広く県内に広げるために実施しています。

今年度の「実技研修会」については、中学校に勤務する美術科教員を対象にして東京造形大学非常勤講師川合克彦先生をお迎えして、講義と実技研修を実施しました。川合先生の講義の中で、「発想」、「構想」、「表現」という学習過程の前に「感受する」という行為が必要である。とい

う内容や「教育は教師次第である。」という内容が印象に残りました。

実技では、梱包材に使うウレタンシートを使ったお面づくりをしました。ウレタンシートを思い通りに加工しながら楽しそうに取り組む先生たちの表情から、題材の面白さや関心の深さを感じ取ることができました。

また、「研究調査委員会」では、各研究調査員に二年間の実践を委託し、新学習指導要領のねらいを踏まえた、研究の実践と成果を報告書としてまとめ、広く県内の図画工作・美術の授業改善に活かしていくものです。今年度はその一年目として研究の方向性を確認したところです。

本年度は、前述の二つの事業を中心次の事業を実施しました。

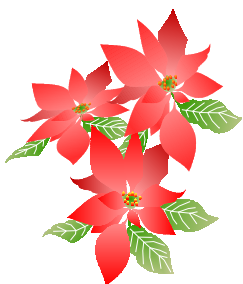
- 一 第一回郡市部長会・研修会
 - (一) 期日 二月二十九日(火)
 - (二) 会場 茨城県陶芸美術館
- 二 夏季実技研修会
 - (一) 期日 八月十日(金)

茨城県教育研究会
 図工・美術教育研究部
 広報委員会
 (第48号)
 事務局 水戸市三の丸
 2-6-8
 茨城大学附属小学校内
 TEL 029(231)2831
 URL
<http://kyoikuplaza-ibk.or.jp/kenkyukai/>各研究部/図画工作・美術教育研究部/

- (二) 会場 茨城大学附属小学校
- (三) 講師 東京造形大学 川合 克彦 先生
- 三 研究調査委員会
 - (一) 期日 八月十日(金)
- (二) 会場 茨城大学附属小学校
- 四 第五十八回関東ブロック造形教育研究大会東京大会への参加
 - (一) 期日 十一月八・九日
 - (二) 担当分科会

- 県北・県東地区
- 五 県芸術祭小中学校美術展覧会
 - (一) 期間 十二月十二日～十六日
 - (二) 会場 県民文化センター
- 六 第二回研究調査委員会
 - (一) 期日 二月十九日(火)
 - (二) 会場 茨城県近代美術館
- 七 第二回郡市部長会・研修会
 - (一) 期日 二月二十一日(木)
 - (二) 会場 茨城県近代美術館
- 八 部会報第四十八号ウェブ掲載

今年度の主な活動内容につきましては、茨城県教育研究会ウェブページに掲載する予定ですので、ご覧いただければ幸いです。



県夏季実技講習会に参加して

期 日 平成三十年 八月十日〔金〕
 場 所 茨城大学教育学部附属小学校
 講 習 「新しい学習指導要領と今後の美術教育」
 講 師 元神奈川県公立中学校教育研究会美術科部会長
 東京造形大学 非常勤講師 川合 克彦 先生

つくば市立大穂中学校 春日 葉子

新学習指導要領では現行の四観点から三観点となり、各教科で共有できるよう、学習の構造が一本化されます。では具体的に、自分の意識や授業をどう変えればいいのか。新学習指導要領を読みながら漠然とした不安がありました。今回県の実技研修会に参加させていただいて川合先生の講義を伺い、「美術科としての学びの本質は変わらない、社会が変化していく中でシステムが変わっていく。だからこそ、実践を担う教師が果たす役割は大きい」といったお話を聞き、今後の自分の役割について再考することができました。特に評価において、点数でカッティングポイントを設けるのではなく、B（概ね満足）の中にたくさん「すごいね（IIA）」を見つけられる目を持った教師になりたいと感じました。

実技は「生きているお面」の制作



でした。一枚のウレタンシートを三本の指でつまむだけで表情が生まれ、さらに切ったりくっつけたりつまんだり絞ったりすることで、その表情が千差万別になる面白さ。中学生がはまりがちな上手い・下手ではなく、生き生きとした表情になるよう納得

するまで様々なに試行錯誤できる、素晴らしい題材だと思いました。ありがとうございました。



事務局だより

「パパ、レッドキングダムに出た！」
 「……」
 図書館で借りてきたウルトラマンのDVDに熱を上げていた三歳の息子は、成長とともに色や形の違いを理解するようになりました。公園でたんぼぼを見つけて「きいろ、キレイ。」食事の際にピザを手にとり、「さんかく。」全部食べ終えて、皿を指さし、「まる。」と、分かるようになったことを一生懸命伝えてくれます。周りの人間から教えられる、絵本を読んでもらって、様々な体験の中で知識や技能を獲得しているのだと、親馬鹿ながら嬉しく思います。

さて、冒頭の息子の放った一言。子どものもつ可能性やつぼやきの重要性を再認識した場面でした。トイレで対面したその汚物は、確かに怪獣レッドキングのような薄茶色で、とがった頭にごつごつした肌。そして、大きな尻尾があるように見えるのです。思わず「おお！本当だ、そっくり！」と言ってしまった自分がいました。色や形をヒントに、何かに見立てたり新たなものを想像したりすること。それは、図画工作・美術科教育における感性が働き、価値を見出した場面と同じではないでしょうか。大人になると、規則や体裁を気にしすぎて、その本質を見ずに注意したり制止したりしてしまいがちです。子どもの思いに寄り添い、のびのびと表現させるには、我々教員も童心や遊び心を忘れてはいけませんね。（広報部・深谷 泰弘）

第五十八回関東甲信越静地区造形教育 教育研究大会東京大会に参加して

期 日 平成三十年 十一月八日〔木〕・九日〔金〕

授業会場 品川区立第三日野小学校 葛飾区立大道中学校

全体会場 かつしかシンフォニーヒルズ

研究テーマ 「みつける つくりだす つながる」 ～未来をひらく造形教育～



常陸太田市立瑞穂中学校 森むつみ

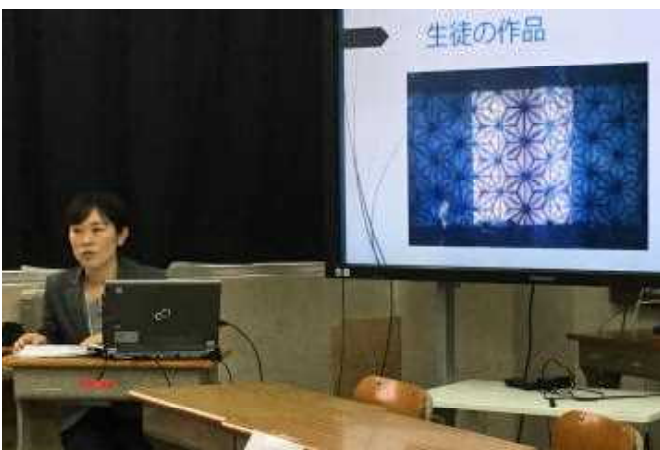
日頃、小学校の授業を見る機会がなかなかないので、小学校では一体どんな授業をしているか、楽しみな気持ちで参加させていただきました。

グラウンドのビニルプールで粘土の船を浮かべている三年生、自分の背よりもはるかに長い角材と金槌・釘で格闘する四年生から参観はスタートしました。どの学年でも材料や画材を触ってみて、感じたり考えたりしながらやってみる題材が多く、思いがけない表現や形を生み出す楽しさを存分に感じている姿を見ることができました。いろいろな表現の中から、自分のいいなを見つけてる経験を重ね、感性を磨いて中学校に入學してくる生徒の姿を想像し、楽しみになりました。

また、インドネシアの影絵やブラジル先住民の椅子の鑑賞など、多様な題材が鑑賞の素材として扱われてお

り、中学校でも活用できる内容であり、大変参考になりました。

制作の過程で、生徒がどのように感じたり考えたりしているかを、見取ることに大切さと難しさを感じた参観になりました。材料や画材をどうするかを考えたり、試行錯誤を重ねたりしていく過程が大切であり、それを見とり評価していく難しさを改めて感じました。



平成三十年度 研究調査委員会

平成三十年八月十日（金）、茨城
大学教育学部附属小学校において、
第一回研究調査委員会を開催しまし
た。各地区から選出された研究調査
委員の先生方に、二年間をかけて図
画工作・美術の授業づくりに関する

プをつくり、児童・生徒の実態や現
在抱える課題、現在熱心に取り組ん
でいる授業内容などを話し合うこと
で、テーマ設定の手がかりを探って
いただきました。

来年度八月の第三回研究調査委員
会では、二年間の研究成果と課題
をまとめた研究実践報告書を持ちよ
り、実践内容の最終報告会と情報交
換を行う予定です。

研究調査委員会でまとめた過去の
実践研究報告書は、次のウェブ・ペ
ージにて公開中です。これらの研究
実践事例を参考にし、それぞれの学
校の児童・生徒の実態に合わせて創
意工夫して、多くの先生方の授業で
活用していただきたいと考えていま
す。

あたっては、授業づくりに関する様
々な問題領域（目標、題材設定、指
導計画、場の構成、発問、板書、ワ
ークシート、提示資料、児童・生徒
の実態など）を視点に、テーマを設
定していただきます。この日は、異
なる地区の先生方と少人数のグルー

茨城県近代美術館において、第二回
研究調査委員会を開催しました。こ
の日は、実践レポートの中間発表会
の日です。目の前の児童・生徒にど
のような活動を通して、どのような
能力を身に付けさせていきたいのか、
八月からの半年の間にテーマを明確
にし、実践された様々な内容が報告

研究調査委員会では、各郡市から
推薦された三十九名の先生方に研究
調査委員をお願いしています。今回

の委員の期間は三十・三十一年度の
二年間です。委員の選出にあたって
は、郡支部長名簿の番号を使って奇
数番号を中学校、偶数番号を小学校
として委員を選出していただきました
。個人名については別表を参照し
てください。なお、前任期までの流
れで小中を決定したため、多少割り
当てと異なる場合もございます。

平成30・31年度県図工・美術教育研究調査委員名簿				
地区	No.	郡市	氏名	学校名
中央	1	水戸市	石井 絵梨	水戸市立見川中学校
	2	笠間市	石島 沙也香	笠間市立稲田小学校
	3	ひたちなか市	水上 みなみ	ひたちなか市立平磯中学校
	4	常陸大宮市	石井 聖子	常陸大宮市立御前山小学校
	5	那珂市	横須賀 哲也	那珂市立第一中学校
	6	小美玉市	吉川 美樹	小美玉市立下吉影小学校
	7	東茨城郡	田村 美穂子	城里町立常北中学校
	8	那珂郡	富岡 ひろみ	東海村立中丸小学校
	9	大子地区	金谷 由香里	大子町立大子西中学校
県北	10	日立市	黒羽 ひとみ	日立市立河原子小学校
	11	常陸太田市	森 むつみ	常陸太田市立瑞竜中学校
	12	高萩市	宮本 順子	高萩市立高萩小学校
	13	北茨城市	鬼澤 玲奈	北茨城市立中郷中学校
県東	14	鹿嶋市	矢吹 彩加	鹿嶋市立平井小学校
	15	神栖市	下田 佳奈	神栖市立波崎第三中学校
	16	鉾田市	武石 典子	鉾田市立上島東小学校
	17	潮来市	鈴木 創	潮来市立潮来第二中学校
	18	行方市	平本 真奈美	行方市立麻生東小学校
県南	19	土浦市	下川 達也	土浦市立第三中学校
	20	石岡市	西連地 裕子	石岡市立東小学校
	21	龍ヶ崎市	倉持 奈央	龍ヶ崎市立城南中学校
	22	取手市	西脇 秀高	取手市立白山小学校
	23	牛久市	鴻野 留美	牛久市立牛久第一中学校
	24	つくば市	原口 知武	学園の森義務教育学校
	25	守谷市	塚田 まゆみ	守谷市立御所ヶ丘小学校
	26	稲敷市	米川 早絵子	稲敷市立東中学校
	27	かすみがうら市	中田 裕美	かすみがうら市立千代田中学校
	28	つくばみらい市	青木 美智子	つくばみらい市立谷井田小学校
	29	稲敷郡	藤崎 佐保里	美浦村立美浦中学校
	30	北相馬郡	岡田 秀樹	利根町立文間小学校
県西	31	古河市	中村 史佳	古河市立古河第二中学校
	32	結城市	長峯寺 由香里	結城市立城南小学校
	33	下妻市	栗原 信雄	下妻市立下妻中学校
	34	常総市	久保田 育実	常総市立絹西小学校
	35	筑西市	岩島 真弓	筑西市立下館中学校
	36	坂東市	首藤 健美	坂東市立南中学校
	37	桜川市	坂入 洋子	桜川市立桃山学園義務教育学校
	38	結城郡	坂本 聡恵	八千代町立中結城小学校
	39	猿島郡	篠塚 麻衣子	境町立境第一中学校

http://kyoikuplaza-ibk.or.jp/kenkyukai/
研究部(図画工作・美術教育研究部)